

こんにちは。聖隼太郎です。頬を撫でる風に、優しい暖かさの交じる春爛漫の季節となりました。

朗らかな陽気に誘われ新年度がスタートしました。

この季節になると、ドキドキ・ソワソワ・ワクワク・・・新人時代の気持ちが蘇ります。

今回は透析室に潜入！透析患者様の多くは糖尿病の合併症である糖尿病性神経障害により小さな傷から足の切断に至る危険が高いと聞きます。

さて、今月はそのような患者様の「足」=「人生」を守るために活動している

～透析室のスペシャリスト『フットケアナース』～ をご紹介します

《透析室》 ベッド数:40床 患者数:約140名

突然ですが、皆様は自分の「足」を大事にしていますか？当院の透析室では透析中にフットケアを実施し、傷の早期発見や爪・かかとのケアを行い、切断に至らないよう努めています。



フットケア看護師 : 2名在籍
フットケア実施患者数 : 40～45名/月

糖尿病のある患者様を対象とし、医師の指示に基づいて

- 神経障害の検査
- 爪切り
- 足浴
- 足にできたタコ(胼胝)やウオノメ(鶏眼)を特殊な道具で削る等のケアを実施しています



最後に保湿して**キレイな足**になります
“透析時のリラックス効果”

また、フットケアを導入することにより
「セルフケア能力の向上」に繋がっています



- 🌸 次月のフットケアまできれいに保とうという意識を持って生活して下さるようになった
- 🌸 ささいな異常をすぐに伝えて下さるようになった

患者様にとって「月に1度の楽しみ」

これからも患者様の「足」を患者様と一緒に守るために続けていきます